



5月中旬～6月	会議（開催内容、担当リーダー決め、当日までの大まかな進行）	東本梅町ふれあいセンター
6月初め	会場貸借手続き、新メンバー募集	
6月中	屋台候補・会場各所交渉	
6月下旬	会議（当日内容確認）	旧青野小学校体育館
7月上旬	チラシ・ポスター作成・印刷	
7月中旬	チラシ・ポスター配布、草刈り呼びかけ	
7月後半～8月中	小中学生メンバー企画会議（2、3回）	東本梅町ふれあいセンター
8月末～9月初	草刈り	旧青野小学校
9月	会議、リハーサル、当日	旧青野小学校
10月～12月	振り返り会	東本梅町ふれあいセンター
11月	各町自治会の作品展で写真など成果を展示	東本梅町ふれあいセンター 旧青野小学校体育館

●情報発信方法（ウェブ、チラシ、ポスターなど）

発信媒体	発信量	広報範囲（配布範囲、掲示場所等）
ウェブ（HP、SNS）	適宜	
チラシ	1200枚程度	宮前町・東本梅町全戸、育親学園、
ポスター	20枚	こども園、他近隣の飲食店等
亀岡市広報	1回	亀岡市内

8. 目標

この事業を地域課題解決に繋げるために①どのような変化・成果を目標として、②そのための事業実施の目標はどう設定するのか、①②の2つの観点から具体的に記入してください。

事業実施に当たって下記の目標を書いてください。

① 事業による変化・成果目標

親子や地域住民の思い出作りと共に、住民が気軽に参画できるような取り組みが継続して行われるということ地域内に周知し、この地域の将来を従来の枠を超えて共に考えていきたいと思う「やる側」の人を一人でも多く増やす。子どもたちが地域の中で活躍できる場となる。

② 上記①を達成するための実施目標数値（事業の回数や参加者数など）

事業回数1回 来場者400人 運営側の新規参加者目標 子ども3名 大人3名

9. 連携・協力

他の団体や行政機関などとの連携・協力について、連携・協力先の名称と具体的な連携・協力内容を記入してください。

※記入にあたっては、連携・協力先との十分な事前協議を行ってください。

亀岡市教育委員会、教育総務課、社会教育課、下水道課（会場・電気設備・備品貸出、宮前浄化センター貸出）宮前町自治会（展示、広報、備品貸出）、東本梅町自治会（展示、広報、備品・会場貸出）、宮川財産区（駐車場貸出）、育親学園（広報）、宮前町・東本梅町で営業中の飲食店（出店打診）、夢ナリエ、宮川郷志会、東本梅町太鼓同好会、神前こども太鼓

10. ステップアップの内容

※活動2年目以降の団体は記入してください。

① これまでの事業実施時の課題と成果、② 今回申請の事業はこれまでの事業と比べてどう活動の充実をさせているのか、具体的に記入してください。

		い。
<p>① 2年連続で同じ事業に取り組んだことで、運営側で参加してくれる人が地域内に増えてきた一方で、色々な方向性の意見が出てきている。今後も続けていくことを見据えて、方向性ぶれて目的がわからなくならないよう、明確に言語化し確認していく必要がある。</p> <p>② 二度同じメンバーを中心に事業に取り組んでいるので、事業の根幹部分について考えてきた時間を、これまで取り組めていなかった部分の質（安全性・満足度）の向上に使うことができると考えている。</p> <p>また、次年度以降の団体の活動継続を見据え、今後の資金調達につながるPR（共感者集め・ふるさと亀岡まちづくり応援事業）を行う。また、子どもたちの企画にも丁寧に時間を使い事業全体の質を向上させることを考えている。</p>		
11. 次年度以降の展開	本支援金による支援終了後の事業展開について、資金の獲得や事業の継続展開をどのように行われる予定なのか、方法を具体的に記入してください。	
	実施内容	資金獲得方法(助成金・寄付金)
2年目	野外映画館及び屋台出店を旧青野小学校グラウンドで実施する	助成金、寄付金(カンパ)、事業収入、出店料、団体向けふるさと納税
3年目	野外映画館及び屋台出店を旧青野小学校グラウンドで実施する	助成金、寄付金(カンパ)、事業収入、出店料、団体向けふるさと納税
11. 審査会	審査会の発表順番は何番を希望しますか。いずれかに○をつけてください。申請書の提出が早い団体の希望を優先して順番を決めます。	
○	一番最初	
	前半	
	後半	
	一番最後	

申請額に対して減額で交付決定となった場合も申請事業を実施します。

※内容が本様式に入りきらない場合は適宜追加し、事業内容が分かる参考資料があれば添付してください。